

CVS再認定 申請要領

(2013年 3月一部改定)

(2016年 4月一部改定)

(2021年 4月一部改定)

(2021年 7月一部改定)



公益社団法人 日本バリュー・エンジニアリング協会

CVS認定制度とは

CVS (Certified Value Specialist) 資格は、VEの指導・推進・実践を担える人材を広く育成するために、VEに関する正しい知識と極めて高いスキルを持つ人材に与えられるものです。有資格者は、米国をはじめ世界の国々の様々な分野で活躍しています。

CVS認定制度のプログラム(試験内容・認定基準・手続き・実施要領等)はその認定を行っているSAVE International(以下「米国VE協会」)が定めており、日本での認定試験と再認定審査を本会が代行しています。

この試験及び審査は、米国VE協会と同等の基準で、申請者が有しているVE知識のみならず実務経験や応用力も併せて審査するもので、審査に合格し、米国VE協会認定されると、日米双方のVE協会にCVSとして登録されます。

I. 再認定・再登録について

CVSの認定・登録期間は2020年度に4年間から2年間に変更され、再認定・再登録を受けるには本会及び米国VE協会への申請が必要です。期限内に申請がなされなかった場合は、認定・登録が自動的に取り消されます。取り消された方がCVS資格を再取得するには、もう一度試験を受けて合格しなければなりません。

再認定料 16,500円(税込)

● 登録の取り消しについて

5頁のCVS倫理綱領に反するような行為等が認められた場合は、登録が取り消されることがあります。

● “CVS-Life”について

CVS制度の改定により、CVS-Life(終身CVS)の新規認定は2016年度からされなくなりました。そのため、2016年度以降は3回目の再認定後も再認定の申請と再認定料の支払いが定期的に必要となります。

Ⅱ. CVS再認定の要件

現在の認定・登録の満了日からの過去 2 年間で、継続学習とVE普及・協力活動及びVE推進活動を合計して40点あること。ただし、VE普及・協力活動及びVE推進活動での得点は、12点以下でなければならない。

カテゴリー	項目	
継続学習	次の①～④で、合計28点以上 （端数時間は切上計算）。	
	①VEに関する研究会又は勉強会等に参加した場合 ➡主査又は副主査として研究会等に参加した場合は、“④の講座を1回受講した”として申請することも可。	1点／1回
	②VEに関する大会・セミナーに参加した場合 ※例：大会に参加して、発表・講演等を5コマ聴講した場合は、その大会について5点申請可。	1点／1コマ
	③VEに関する講座、研修会を受講した場合 ➡資料・図書や論文を読み、又は動画を視聴し、その概要や感想等をA4版1/2ページ程度に纏めたレポートを提出しても可（1件につき1点）。 ※例：創造性、チームビルディング、コスト見積り・分析技法、プロジェクトマネジメント、プレゼンスキル、及び下記の“9つのコア・コンピテンシー”を教育目的としているもの	1点／1回
	④次の1つ以上を教育目的としているファシリテーション講座を受講した場合 ➡ファシリテーションに関する資料・図書や論文を読み、又は動画を視聴し、その概要や感想等をA4版1/2ページ程度に纏めたレポートを提出しても可（1件につき1点）。 ※ チーム・ダイナミクス（集団力学）を管理する ※ チームを動機づける ※ コミュニケーション・スキルを表現する ※ タイム・マネジメント・スキルを発揮する ※ 情報を導き出す ※ ファシリテーションのコア・プラクティスを思い出す ※ チームに目的達成に焦点を当て続けさせる ※ チームを合意形成に導く	1点／1回

※ 1点以上は、③の“機能分析を教育目的としている講座の受講”によらなければならない。

➡ 機能分析に関する資料・図書や論文を読み、又は動画を視聴し、その概要や感想等をA4版1/2ページ程度に纏めたレポートを提出しても可。

※ 1点以上は、④の“ファシリテーション講座の受講”によらなければならない。

➡ ファシリテーションに関する資料・図書や論文を読み、又は動画を視聴し、その概要や感想等をA4版1/2ページ程度に纏めたレポートを提出しても可。主査又は副主査としての研究会等参加でも可とする。

※ 10点までは③で、次の“9つのコア・コンピテンシー”のいずれかを教育目的としている講座の受講によることができる。

➡ 次の“9つのコア・コンピテンシー”のいずれかに関する資料・図書や論文を読み、又は動画を視聴し、その概要や感想等をA4版1/2ページ程度に纏めたレポートを提出しても可。

- | | |
|---------------|-----------------|
| (1) VE | (6) プレVE段階 |
| (2) 情報の変換 | (7) VEワークショップ段階 |
| (3) ファシリテーション | (8) ポストVE段階 |
| (4) 機能分析 | (9) VE管理 |
| (5) 会計（コスト） | |

※ 2点までは③で、上記の“9つのコア・コンピテンシー”を直接の教育目的とはしていないものの、上記の“コア・コンピテンシー”に関連はしている講座の受講によることができる。

➡ 上記の“コア・コンピテンシー”に関連する資料・図書や論文を読み、又は動画を視聴し、その概要や感想等をA4版1/2ページ程度に纏めたレポートを提出しても可。

カテゴリー	項目	
VE普及・協力活動	次の①～⑪で、合計12点以下 （端数時間は切上計算）。	
	①申請者本人又は申請者の所属組織（法人・団体又はその事業所・工場等）が、VEに関する非営利法人の社会貢献活動を会員として支援した場合	1点／1年
	②VEに関する非営利法人の社会貢献活動に、リーダー又はメンバーとして直接参画した場合 ※例：震災復興支援活動	1点／5時間
	③支部組織に参画し、VEに関する非営利法人の地域貢献活動を支援した場合 ※例：支部運営委員 ⇒東日本支部の部会への参加は継続学習の①	4点／1年
	④支部長又は副支部長に就任し、VEに関する非営利法人支部組織の地域貢献活動を支援した場合	8点／1年
	⑤本部の委員会組織に参画し、VEに関する非営利法人の社会貢献活動を支援した場合 ※例：委員	4点／1年
	⑥委員長又は副委員長に就任し、VEに関する非営利法人の社会貢献活動を支援した場合	8点／1年
VE推進活動	⑧VEに関する30分以上の発表・講演等を社内外で行った場合 →VE誌など専門誌への記事掲載も可（査読の有無は不問）	1点／1回
	⑨米国VE協会が認定しているバリュー・メソドロジー・ファンダメンタルズ 1 及び 2 やVEワークショップ・セミナー等、VEに関する教育を社内外で行った場合 ※ 得点は、講座の中で指導した割合によって比率配分する ※ 1年につき2点まで申請可	2点／1講座
	⑩VEに関する大会・セミナーのセッションで司会やパネリストを務めた場合 ※ 1年につき1点まで申請可	1点／1回
	⑪社内外でVE指導を行った場合	1点／1件

Ⅲ. 再認定料（16,500円）の納入方法

1. 銀行のATMから振り込む場合

最寄りの都市銀行、地方銀行、信託銀行、信用金庫のATMから、次の口座に振り込みください。

<振込先>

銀行名	三菱UFJ銀行
支店名	駒沢大学駅前支店
口座種別	普通預金
口座番号	0394063
口座名義	公益社団法人 日本バリュー・エンジニアリング協会 試験係

注1) 依頼人の欄には、申請者本人の氏名・電話番号をご記入ください。

注2) 振込手数料は、申請者負担をお願いします。

注3) 再認定申請書の様式4に振込日等をご記入ください。領収証の貼付は不要です。

2. 郵便局から払い込む場合

最寄りの郵便局から、備え付けの「郵便振替払込書」を使用して、次の口座に払い込みください。

<払込先>

口座番号	00190-6-536596
加入者名	日本VE協会 試験係

注1) 払込人の欄には、申請者本人の住所・氏名・電話番号をご記入ください。

注2) 払込手数料は、申請者負担をお願いします。

注3) 再認定申請書の様式4に払込日等をご記入ください。領収証の貼付は不要です。

Ⅳ. 再認定申請書の送付先（電子メール又は郵便）

公益社団法人 日本バリュー・エンジニアリング協会
事務局 鈴木 [E-mail: suzuki@sjve.org]
〒154-0012 東京都世田谷区駒沢 1-4-15 真井ビル 6階
TEL. 03-5430-4488 / FAX. 03-5430-4431

※ 申請書の送付後、上記の担当者から連絡がない場合は、申請が問題なく受理されたとご判断いただき、認定証が届くまでお待ちください。認定証は通常、年内中に届けられる予定です。

C V S 倫 理 綱 領

VEの専門家として、CVSは次の各項目を遵守しなければならない。

1. 高い理想を掲げ、専門知識水準の向上に努め、社会に貢献する。
2. 顧客と企業の信頼に応えるため、誠意をもって職務を遂行し、その秘密を守り、勤勉かつ誠実に奉仕する。
3. つねに広い視野をもち、偏見をもたずに他人の意見やアイデアを尊重する。また著作権など、知的財産権の侵害となるような行為は厳に慎む。
4. 自己のあらゆる行動において、つねに真実・正確・公平そして品位を保ち、専門家としての名誉と能力を疑われるような行為を慎む。
5. 公共のために自己の専門的経験・知識を活用し、あらゆる機会をとらえ、社会にVEを普及することに努める。
6. VE活動の効率向上のために、つねに改善を推進するとともに、最新技法や適用拡大について研究に努める。
7. つねに一貫性・公平・寛容・尊敬の念をもってこの倫理綱領を守り、CVSの権威を保ち、同じ分野の専門家と協力する。
8. 専門技術の充実のために、教育訓練を通して、高い人格と専門技術をもった専門家の育成に力を尽くす。
9. リーダーシップが求められていることを自覚し、社会人としての道徳的責任を果たし、CVSの名を汚さないように配慮する。
10. CVSはその資格を取得したことによって、専門家としての能力を完全に備えたとはいえないことを十分に認識しておく。